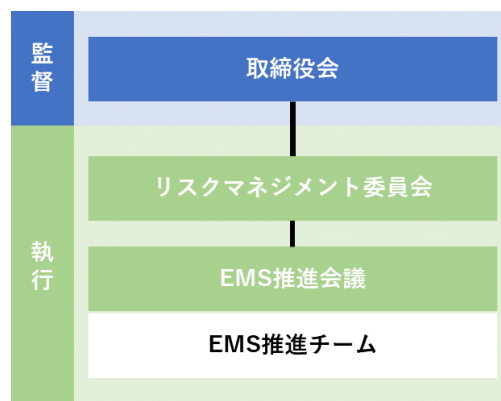


TCFD 提言に基づく情報開示

NSW では、気候変動問題は事業継続に影響を及ぼす重要課題のひとつと位置づけ、グループ全体で気候変動対策に積極的に取り組んでいます。また、TCFD の枠組みに沿って、気候変動が当社グループの事業に与えるリスク・機会を分析して経営戦略・リスクマネジメントに反映するとともに、関連する情報の適切な開示を行い、社会全体の脱炭素化に貢献し企業価値の更なる向上を行ってまいります。

ガバナンス

NSW では、NSW 環境マネジメントシステムにおいて、気候変動をはじめとする環境問題に関する活動を定めています。環境管理責任者、環境推進チームで構成する「EMS 推進会議」を開催し、気候変動等に関する情報共有、討議、報告を行い環境に関する対応策を全社レベルで推進しています。また四半期毎に「リスクマネジメント委員会」を開催し、事業への影響および対応策の審議を全社レベルで行っており、実施内容については半期毎に、取締役会へ報告をし、適宜監督を行っています。



戦略

NSW では、2050 年の気候変動を見据えたネットゼロエミッション目標の 1.5℃と、現在の温暖化対策を上回る対策がとられない場合の 4℃を前提に、シナリオ分析を行っています。

【予測シナリオ】

- ・IEA World Energy Outlook 2023
- ・IPCC 第 6 次評価報告書
- ・資源エネルギー庁 エネルギー白書 2023
- ・気象庁 日本の気候変動 2022 大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書

東京都の気候変動 日本の気候変動 2020 に基づく地域の観測・予測情報リーフレット






山梨県の気候変動 日本の気候変動 2020 に基づく地域の観測・予測情報リーフレット

【時間軸】

時間軸	開始年度	終了年度
短期	2023	2025
中期	2026	2030
長期	2031	2050

【リスクと機会】

移行リスク	内容	時間軸			事業 インパクト
		短	中	長	
政策と法規制	カーボンプライシング、炭素税等の GHG 排出強化規制に伴うコスト増加のリスク	●	●	●	↑
技術	技術革新により省エネ技術が向上した設備への対応によるコストの増加および既存設備の陳腐化リスク		●	●	↗
市場	気候変動リスクに配慮した ICT サービスに対する需要を満たせなかった場合、ビジネス機会を逸失するリスク		●	●	↗
評判	環境意識、気候変動リスクへの対応の遅れによるレピュテーションの低下および人材（採用、従業員等）エンゲージメントへの悪影響リスク	●	●	●	→
物理リスク	内容	時間軸			事業 インパクト
		短	中	長	
急性的	台風や集中豪雨に伴う業務活動の停滞リスク		●	●	→
慢性的	長期的な高温により、設備の追加や電力消費の増大が生じることによる財務的リスク			●	↑

機会	内容	時間軸			事業 インパクト
		短	中	長	
資源効率	省エネ活動や業務の効率化による炭素排出量削減	●	●	●	
エネルギー源	事業活動に利用する化石燃料を利用した電力エネルギー源を、再生可能エネルギーへ転換することによる炭素排出量の削減		●	●	
製品およびサービス	気候変動の緩和に貢献するサービス（エッジ AI ソリューション、リアルタイム温度管理を可能にする IoT ソリューション等）の提供による売上増			●	
市場	低炭素社会・脱炭素社会の進行に伴って、気候変動対策に貢献する新たな ICT サービス市場の機会獲得（AI 活用、5G に関連した業務効率の向上等）		●	●	
レジリエンス	気候変動リスクを適切に管理することによるサプライチェーンの信頼性向上	●	●	●	

【事業分析結果】

シナリオ分析の結果、データセンター事業では、データセンターの消費電力に掛かるコストの上昇が見込まれます。また、ICT サービスの提供においては、気候変動対策に関するビジネスの機会の拡大が見込まれます。

【対応策】

重要なリスクに対する対応策として、データセンタ内の空調効率改善、クラウドシフト、敷地の有効活用等に取り組んでいます。

リスク管理

NSW では、リスクマネジメント体制において、リスクマネジメント委員会を設置し、気候変動関連を含む全社のリスクの識別・評価・管理を定期的実施し、同委員会の結果については、取締役会へ報告を行っています。

また、ISO14001 環境マネジメントシステムに準拠した、NSW 環境マネジメントシステムを構築しており、EMS 推進会議では、気候変動による事業リスクおよび機会や対策を共有し、進捗管理を行っています。なお、主要オフィスおよびデータセンターにおいては、ISO14001 の認証を取得しています。

指標と目標

NSW は、気候変動リスク及び機会への対応として GHG 排出量を指標とし、ネットゼロエミッション達成を目指していきます。

中長期目標	
2030 年度 Scope1+Scope2	2013 年度比 50%削減
2050 年度 Scope1+Scope2	CO ₂ 排出ネットゼロ（カーボンニュートラル）

【GHG 排出量 Scope1+Scope2】

年度	GHG 排出量 (t)	年度	GHG 排出量 (t)
2013	14,240	2014	13,278
2015	12,022	2016	11,175
2017	9,729	2018	9,636
2019	9,279	2020	9,067
2021	9,297	2022	9,402
2023	9,268	-	-